

Access Report

2018年 10月 21日号
アクセス教育情報センター

目次

学校情報	公開模試情報	教育情報	その他	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・本郷中 ・跡見学園 ・香蘭女学校 ・立正大付属中高 	<ul style="list-style-type: none"> ・日能研模試10月 ・首都圏模試10月 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試 ・部活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・名言・迷言・冥言 ・麻生財務相 ・顔認識 ・AI監視カメラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・N中等部

学校情報

本郷中 塾対象説明会(2018年10月10日)

3)入試問題について 各教科より

(資料に添付されていた詳細は後述)

1. 国語…第1回の解答用紙を使って説明。

大問1 漢字

大問2 論理的文章

大問3 文学的文章

2019年も同じ形式。

漢字の得点の高い受験生は全体の得点も高い。

2. 算数…この問題をいくつか使って説明

立体図形の問題は頻出。

問題文の長い問題は文章をしっかり読むこと。

出題形式は例年通り。過去問で対策を。

オーソドックスな問題はキチンと解くこと。

字は丁寧に書くこと。

入学後、塾や保護者の支えがなくとも勉強できる生徒になってほしい。

3. 社会…問題用紙の表紙、解答用紙を使って説明。

地理、歴史、公民分野から25点ずつの出題。

出題傾向は例年と同じ。

地理と歴史を関連させた問題がある。

歴史は大きな流れをつかむこと。基本的な知識も必要。

公民は国内外のここ数年の時事的な問題が出題される。憲法に関わる問題も。

オーソドックスな勉強をしてほしい。

漢字で書くところは漢字で。地名、人名、用語とうについてはすべて漢字で書くつもりで。

読みやすい字で丁寧に書くこと。

地形図の読み取りが出題されるが、基本的なもの。

記述はほぼ短答式で答えるもの。

理科…第2回問1の問題を使って説明。

化学分野の問題で、小学校ではあまり扱っていないかもしれないが、日常生活で耳にしている内容。

水の中に含まれるミネラルに関して、文章と表(グラフ、図)を組み合わせて読み取る問題。知識や計算だけで答える問題だけでなく、こういう形式の問題が1回～3回の入試のどこかで出題される。

知らない事柄でも、身近な現象に関心を持って、なぜそうなるのかを考えるようにしてほしい。

理科では漢字の多少の誤字は許容する。

5)入試について 入試対策室長 吉岡先生

1. 2018年入試結果

	第1回	第2回	第3回
	2/1	2/2	2/5
募集人数	80	120	40
応募者数	397	988	507
受験者数	390	873	388
合格者数	143	440	64
実質倍率	2.7	2.0	6.1
繰上者数	7	6	2
手続者数	146	110	46
入学者数	130	87	43

応募者数が前年の1回455、2回1085、3回765から減少する。

インターネット出願を導入したことによる影響。

その分、欠席率が下がる。

2月1日は本郷第一志望の受験生が多い。

2月2日は1日の難関校との併願者が多い。

2月5日は再チャレンジや駆け込み出願者が多い。

2月1日で合格して2月2日以降受験しなかった人が70名。(前年は66名)

2月2日で合格して2月3日以降受験しなかった人が25名。(前年は21名)

入試の特色

・正答例の掲示・配布

保護者控え室にて、各教科試験終了後5分～10分後に正答例を掲示。2限終了時の国語と算数の、4限終了時に社会と理科の正答例を配布。

・試験問題は受験生が持ち帰れる

正答例と合わせ、自己採点や次の試験に役立てることが出来る。

・点数開示

不合格者に対して、当日19:00～19:30の間、翌日に。再受験の目安にしてもらえたら。

・繰り上げ合格

出ず場合は複数回受験者から。TELにて連絡。つながるまで連絡を入れる。つながりやすいTEL番号を記入しておいてほしい。

2. 2019年入試

第1回 2月1日 80名 4科

第2回 2月2日 120名 4科

第3回 2月5日 40名 4科

1月10日から出願を開始。

他の変更点はなし。

ホームページに過去問と正答率の掲載有り。

6) 中学校入試問題の傾向と対策

(配付資料より)

1. 国語

作問の基本方針

(一)漢字の出題においては、毎日、丁寧に漢字の読み・書きを学習しているか、言い換えれば日々の地道な学習の積み重ねができてきているかを確認したいという方針を持っています。受験生にとって、特に難しい漢字を出題するのではなく、日々の丁寧な漢字学習が得点に反映される出題を心がけています。

(二)論理的文章(評論文、説明文など)の出題では、筆者の論点、主張を正確につかむ力を見ることを意図しています。また問題文中の情報を正確に把握する力を見ることも意図しています。このような力を養う過程で必要となるのは語彙力、別の言葉で言い換える力、論の流れを構造的に把握する力、論を俯瞰したうえで細部を解釈する力、細部から論の方向性をつかむ力です。これらの力について各設問を通して、総合的に見たいと思っています。

(三)文学的文章(小説、随筆など)の出題では、ストーリーを正確に把握したうえで、出来事の因果関係、場面の状況、登場人物の心情などを、描写や会話を手がかりにして正確に読み取ることができているかを見たいと思っています。

記述問題について

本校の記述問題の出題方針は独創的な発想や表現力を見るというものではありません。本校の記

述問題を通して確認したい力とは、設問の意図、要求を正確に理解し、問題文の中から必要な部分を設問の意図、要求に合う形に編集し、言い換える力です。

試験実施結果

記述問題で満点を取ることができた受験生も少なくなく、多くの受験生が積極的に取り組んでくれていました。合格者の答案を見ると、やはり記述問題を最初からあきらめてしまうことなく、じっくりと向かい合い、少なくとも部分点は獲得しているという傾向が見られました。また、基本的な問題、結果として正答率が高かった問題で確実に得点しているというのも合格者の答案に見られた傾向でした。

2. 算数

作問の基本方針

次の力がどの程度あるかを特に確かめたいと考えています。

小問集合では、「基本事項」(当たり前のこと)を「当たり前」にできる力。

大問では「イメージがわきにくいもの」を「具体化」し、「習った知識」に“言い換え”で考える力。および、「(1)で分かったこと」を「質問者の意図」を踏まえて「(2)以降で有効に活用する」力。

試験実施結果

上記の大問について述べた2つのポイントで特に差が出る傾向があります。具体的には、「平面・空間図形に関する問題(「図」をしっかり描いて考えられたか?)」「数の規則性の問題(具体化して考えられたか?)」といった問題で差が出ました。

3. 社会

作問の基本方針

地理では、基本的な事項をしっかり理解しているかどうか、また、単に用語を暗記するだけでなく、関連事項まで踏み込んで学習しているかどうかを問います。

歴史では、時代や分野に偏らず、日本の歴史について一通りの知識を正確に習得しているかどうかを問います。正しく漢字で書けるか、類似用語と区別できているかに注意してください。

公民では、政治や経済に関する基本事項だけではなく、グローバル化する現代に関する事項を出題することもあります。日頃から様々なことに関心を持ち、新聞やニュースに触れておく必要があります。

試験実施結果

地理では、基本的な事項に対してオーソドックスな勉強をしてきた受験生はよくできていました。一歩踏み込んだ知識を問うものについては出来が大きく分かれる結果になりました。

歴史では、基本的な歴史用語についてはよく書けていたものの、漢字のミスや類似用語との混同が多く見られました。記号選択問題では、紛らわしい選択肢の絞り込みに必要な知識が曖昧・不十分であったようです。

公民では、きちんと対策をしてきたと思われる受験生は基本問題の正答率が高くなっています。ただ、歴史と同様に、漢字のミスや類似用語との混同尾も見られ、準備不足の受験生もいました。

全体としては点数に大きな上下差が生じており、基本事項の習得度の差がそのまま点差となったようです。

4. 理科

作問の基本方針

理科は、物理・化学・生物・地学の各分野をほぼ均等にまんべんなく出題します。理科に関する基本的な知識を問うもの、その知識のもとに与えられた図や表の値を使って思考力を問うもの、実験の条件をもとにグラフなどの結果から考察力を問うもの、そして話題となっている自然現象や身近な自然現象を問うものなどを取り入れながら出題しています。受験生には、まず基本的な知識を身に付け、オーソドックスな問題の演習を繰り返すことはもちろんですが、過去問を通して応用力を付けることや、観察・実験などの実体験や、新聞やテレビのニュース等から今世界で起こっている「現在の科学の世界」を意欲的に学び取ることを望んでいます。

試験実施結果

問題集にあるような基本的な知識を問う問題や簡単な計算問題は良く出来ていました。記述問題も良く書いていました。

表などから与えられた数値そのものを使うのではなく、ワンステップ入れなければいけない問題や、問題文が長い問題、あまり扱ったことがない事柄に関する問題になると、難易度が高くなっても出来が悪くなりました。

記号選択問題でも複数選択しなければならない問題になると、知識の曖昧さ、不十分さが見える受験生が少なくありませんでした。また、物理・化学・生物・地学の各分野をまんべんなくできている受験生も少なかったように思います。

<http://www.hongo.ed.jp/>

跡見学園 学校説明会(2018年10月13日)

1. 2018年度入試

出願1000－受験605－合格465(昨年はそれぞれ803－408－372)

Iクラス 104名/3クラス

Pクラス 79名/3クラス より手厚く対応

2018年に導入した新入試…2020年大学入試改革で求められる力を意識

・思考力入試

・英語コミュニケーションスキル入試

思考力入試では情報を整理して考察する力、考えを自らの言葉で発信する力、自ら課題を発見する力を見る。11月18日の入試体験会では sample 問題を解くことができる。

英語コミュニケーションスキル入試…筆記、面接を通して4技能の基本を見る

リーディング、ライティング…英検4級目安

リスニング、スピーキング…英検4級目安

11月18日入試体験会では筆記の sample 問題を解くことができる。

2. 2019年入試

一般第1回 2月1日午前 Pクラス80名 2科4科選択

特待第1回 2月1日午後 Iクラス40名 2科

一般第2回 2月2日午前 Pクラス70名 2科4科選択
特待第2回 2月2日午後 Iクラス40名 2科
特待第3回 2月4日午前 Iクラス20名 思考力・英語コミュニケーションスキル
特待第4回 2月5日午前 Iクラス20名 2科4科選択
帰国生 12月19日午前 若干名

4教科入試・・・2018年入試をおおむね踏襲

国語: 説明的文章、物語文、漢字

算数: 計算問題、1行問題、資料を用いた問題

社会: 歴史、地理、公民の分野から

理科: 化学、生物、物理、地学の分野から

11月18日入試体験会では本番に近い形式で過去の問題を解くことができる。

2019年入試のポイント

- ・すべての入試について、入学手続き締切を2月6日とする
- ・帰国生入試、英語コミュニケーションスキル入試入学者に対し取り出し授業を始める
- ・すべての特待入試でPクラススライド合格のチャンスがある
- ・特待入試を4回実施、そのすべてで合格者の中から特待生を選抜
- ・帰国生入試は12月に変更
- ・帰国生入試でIクラス合格、Pクラス合格を出す。

(報告 G. Wa)

<http://www.atomi.ac.jp/jh/>

香蘭女学校 よくあるご質問にお答えして

(塾対象説明会配付資料より)

1) 学習面のフォローについて

中等科では、高3立大内定者による①学習会、②SE学習での英語・数学の講座、③教科担当の先生による補習、④スタディーホールなど、様々な場面で学習面のフォローをしています。また、提出物やノート指導、小テスト・定期テストの振り返りなど、先生が細かくチェックし、理解の定着をはかっています。

①学習会: 夏休みと2学期・3学期に行われる学習会は、立教大学に内定した高校3年生が中等科生の学習をサポートします。憧れの上級生に励まされることで、中等科生達は一生懸命取り組み、苦手分野を克服していきます。この経験を通して、教える側はリーダーシップと他者のために力を尽くすことを学び、教えられる側にとっては学習効果が高いプログラムです。

②SE学習: 講座の中には英語・数学のそれぞれ基礎と発展の講座が設定されて、自分に合わせたレベルの内容が選択可能です。少人数で集中して学ぶことができます。

③補習: 先生による発展的な内容の放課後補習や朝補習、夏期講習、学習が遅れ気味の生徒へのフォローアップ補習など、必要に応じた学習サポートが設けられています。

④スタディーホール:放課後の自学自習、家庭学習の校内完結を促します。自習中にわからないことがあれば、チューターに質問し解決していきます。

2)生徒の進路指導について

80名が関係校推薦で立教大学に進学できます。立教大学の全学部学科に門戸が聞かれており、多くの生徒が第1希望の学部学科に進学しています。進路の決まったあとは、受験生とは別のプログラムで大学入学前に高等教育に対応する力を養います。

立教大学関係校推薦の推薦基準は以下の通りです。(※2018年度推薦基準を抜粋。立教大学からの見直しにより、一部変更になる可能性あり)

- ・ 高等科3カ年の全体の評定平均が3.5以上であること
- ・ 理学部志望は数学、理科などの関連科目の評定が優秀であること
- ・ 高等科3年1学期末の時点で、以下のいずれかの実績があること
 - ① 英語の3カ年評定平均値4.3以上
 - ② 英語検定2級以上
 - ③ TOEIC(TOEIC-IP)500点以上

他の英語外部検定もCEFR B1以上であれば、適用されるものもある。

- ・ 教科以外の教育活動への参加態度の良い者
- ・ 3年間欠席・遅刻・早退・結果の少ない者
- ・ 校則違反のない者

毎年、約20名が、指定校推薦や公募推薦、AO入試で進学します。入学試験や面接のための準備を、担任や教科担当の先生が生徒一人ひとりに向き合い、丁寧に対応しています。

約70名の生徒が、一般受験を目指します。教科担当の先生は、生徒それぞれの志望大学や学部に応じて、時には集団で、時には個別に指導をします。受験を希望する生徒に対しては、少人数の利点を生かし、最後までじっくり丁寧に対応します。受験を希望する生徒は、入試期間も香蘭に通いながら、先生や仲間たちと励ましあって粘り強く勉強し、例年合格を果たしています。

3)海外研修・留学プログラムについて

短期・中期・長期の海外プログラムを設けています。さらに、香蘭卒業後の海外進学を希望する生徒には、カナダの大学(プリンスエドワード島大学)への推薦進学も可能です。

〈短期プログラム〉

短期プログラム(約2週間)は中等科生向けの英国・ケンブリッジ大学での語学研修(約30名)、高等科生向けの英国・ラグビー校での研修(15名)、カナダ・プリンスエドワード島での研修(約20名)の3つを設けています。希望者を対象に、書類選考・口述面接を経て、参加者を決定します。しっかりと事前学習を行い、プログラムに備えます。

○英国

英国での2つのプログラムは寮生活です。特にラグビー校での研修は、インターナショナルプログラムなので、様々な国から参加した同世代の生徒と寝食を共にし、コミュニケーションを自分から求め、友情を育み、リーダーシップを身につけます。

○カナダ

カナダでのプログラムはホームステイです。日中は大学でのプログラムに参加し、終了後はステイ先の家族との時間を過ごします。現地での生活を通して、カナダの持つ多様性や移民の歴史を学んだり、異なる価値観に触れることで自分自身のキャリアを考えたり他者を思いやるとはどういうことかを体験的に学びます。

〈中長期プログラム〉

中期・長期プログラムはカナダ・プリンスエドワード島の現地校での半年・1年間の研修です。どちらも高等科1年生・若干名を対象にしたホームステイプログラムです。

○中期

中期プログラムは高等科1年生の夏に渡航し、現地校での生活を経て、12月末に帰国します。留学先の学校は島内でも上位校と位置付けられており、先進的なICTを取り入れ理数教育も充実しています。卒業生はカナダ国内トップ3に入るマギル大学やトロント大学に合格・進学、日本とは異なる文化や環境の中で、先生方からきめ細やかな指導をいただき、参加した生徒の英語力は飛躍的に向上しています。また、ボランティア活動も行うことで地元の人々や先生方、他の留学生とのかかわりも多く、充実した研修を送ることができます。

○長期

2018年度からは、高等科1年生を対象に、同校での1年間の留学がスタートします。高等科1年生の夏に渡航し、翌年夏に1年間の留学を終えて帰国した際には、1年間の留学期間での学びは、高等科1年の単位として認定され、進級復学[高等科2年に復学]できます。

4) 公開行事

以下の行事は公開されております。受験を希望される児童、保護者が、香蘭女学校の教育、生徒の様子、学校の雰囲気を知る機会となっております。アンケート結果からもヒルダ祭やバザーは、香蘭女学校を志望する決め手になっているケースが多いようです。受験を希望されている児童、保護者にぜひご紹介下さい。

2018年11月23日(金)バザー(100年以上続く歴史的行事。ホームカミングデーにもなっています)

2018年11月17日(土)第3回学校説明会(事前予約を HP からお願いします)

2018年12月22日(土)第4回学校説明会(事前予約を HP からお願いします)

<http://www.koran.ed.jp/>

公開模試情報

日能研模試10月 合格判定(10月7日)

昨年比6.6%の増加。男子は6.2%の増加。女子は7.0%の増加。

	13年	14年	15年	16年	17年	18年
男子 4科	5138	5568	5143	5217	4959	5255
2科	738	802	791	725	704	760

女子 4科	5262	5455	5208	5257	4996	5268
2科	406	492	497	542	488	598
合計	11544	12317	11639	11741	11147	11881

首都圏模試10月 統一合判(10月8日)

前年比3.0%の増加。男子は3.6%の増加、女子は2.5%の増加。

	13年	14年	15年	16年	17年	18年
男子 4科	5357	5421	5538	5127	5283	5406
2科	375	493	524	542	569	655
女子 4科	5993	5768	5765	5570	5421	5480
2科	792	923	1038	1003	1051	1153
合計	12517	12605	12865	12242	12324	12694
